

2月14日は花を贈ろう！都内でフラワーバレンタインの 프로모ーションイベント

2月14日バレンタインデー。日本では、チョコレートが女性から男性に贈る習慣が広く浸透していますが、海外に目を向けると欧米やお隣の中国では、男女がお互いに恋人や大切な人へ贈り物をして愛や感謝を伝え合う日とされています。その贈り物にはお菓子だけでなく、バラをはじめとする花束も多く使われ、「世界でいちばん花を贈る日」ともいわれています。

(一社)花の国日本協議会*では、2011年から日本においても花を贈る文化を定着させ、とくにバレンタインを花贈りの一大イベントとして新たな需要を創出するため、「フラワーバレンタイン」と銘打ち、業界統一の全国キャンペーンとして取り組んでいます。プロモーションにおけるターゲットは花の購買が最も少ない20~40代の男性で、女性へ花を贈る様々な企画を打ち出しています。それらの効果もあるのか、全国の男女20~50代1,000人を対象とした最新の調査によると、花を贈る男性はここ4年間で3倍に増加(14.6→41.8%)しており、また花贈りに対する意識も「恥ずかしい」などより「楽しい」が上回って抵抗がなくなってきたというデータもあります。(“花贈り”に関する意識調査「第5回花と恋愛の相関図」((一社)花の国日本協議会)より)

今年も都内約100か所でフラワーバレンタインのプロモーションイベントを展開するほか、全国約8,500店舗の生花店でもフラワーバレンタイン企画を展開しました。



*一般社団法人花の国日本協議会／花業界の有志により編成され、2010年に発足した「フラワーバレンタイン推進委員会」が、2014年7月30日に設立した団体。「フラワーバレンタイン」をはじめ、年間を通じて、花業界および異業種との連携によって、花や緑が身近にある日本人のライフスタイルを実現させるプロモーションを企画・運営している。

“花の国・あいち”によるフラワーバレンタインプロモーション

花き産出額が昭和37年以降連続全国第1位(28年572億円、農林水産省)を誇る愛知県では、愛知県内及び都内にて大規模なフラワーバレンタインプロモーションイベントを今年も行っています。都内では(一社)花の国日本協議会等とともに、2月4日(日)東京六本木ヒルズにて「あなただけのスイートブーケwithあいちの花」と題し、愛知県内の花き業界関係者で構成する“花男子”などによる花贈りパフォーマンスや大村知事によるPRとトークセッション、オリジナルブーケの作成などが行われ、多くの来場者へ愛知県産花きのPRやフラワーバレンタインの普及を図りました。

フラワーバレンタインに向け各県が花束販売でPR

本県も参加している花き流通情報連絡協議会*では、花きの消費宣伝活動としてフラワーバレンタインのプロモーションイベントを実施しました。本県からは今出荷期を迎えているシンビジウムが用意され、その他にバラ(愛知)、ガーベラ(静岡)、トルコギキョウ(沖縄)、スイートピー(大分、宮崎)、テッポウユリ(鹿児島)など豊富な種類が取り揃えられ消費拡大へPRを行いました。

フラワーバレンタイン花き消費宣伝

- 日時/2月10日(土) 10:00~17:00
- 場所/多摩センター 丘の上パティオ
- 主催/花き流通情報連絡協議会
- 内容/花きの消費拡大に向けて、花束販売を通じフラワーバレンタインのプロモーションを行う



各産地からバラエティ豊かな花を販売



本県産シンビジウムも販売

*花き流通情報連絡協議会各道県、JA(経済連、全農等)及び花き卸売会社で組織し、情報交換や研修等を行う団体。